

# 令和4年3月期 第1四半期決算短信（非連結） 補足資料

## 株式会社ヒップ

令和3年8月5日

### 2022年3月期 第1四半期 決算概要（非連結）

製造業を中心とした顧客企業では、海外経済の回復を背景とした堅調な輸出等に支えられ底堅く推移しており、技術者要請は回復傾向。

稼働人員は前年同期と比べ減少するも、着実に稼働が進んでおり概ね期初計画通りで推移。稼働時間の回復や1時間当たりの技術料金の上昇もあり、売上高は前年同期と同水準を維持。利益面は販売管理費の抑制や、雇用調整助成金の受給による営業外収益の増加もあり増益。

	2021年3月期 第1四半期（実績）		2022年3月期 第1四半期（実績）		前年同期比		2022年3月期 （通期予想）	
	金額 （百万円）	構成比 （%）	金額 （百万円）	構成比 （%）	増減額 （百万円）	増減率 （%）	金額 （百万円）	構成比 （%）
売上高	1,290	100.0	<b>1,278</b>	<b>100.0</b>	△12	△0.9	5,203	100.0
営業利益	69	5.4	<b>91</b>	<b>7.2</b>	+22	+32.2	355	6.8
経常利益	69	5.4	<b>150</b>	<b>11.8</b>	+81	+117.2	425	8.2
四半期純利益	46	3.6	<b>103</b>	<b>8.1</b>	+56	+120.3	288	5.6

上記の業績予想は、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますので、予想に内在する不確定要因や、今後の事業運営における状況の変化等により、実際の業績は上記に記載した予想数値と異なる場合がありますことをご了解ください。

## 各種指標について（前年同期比較）

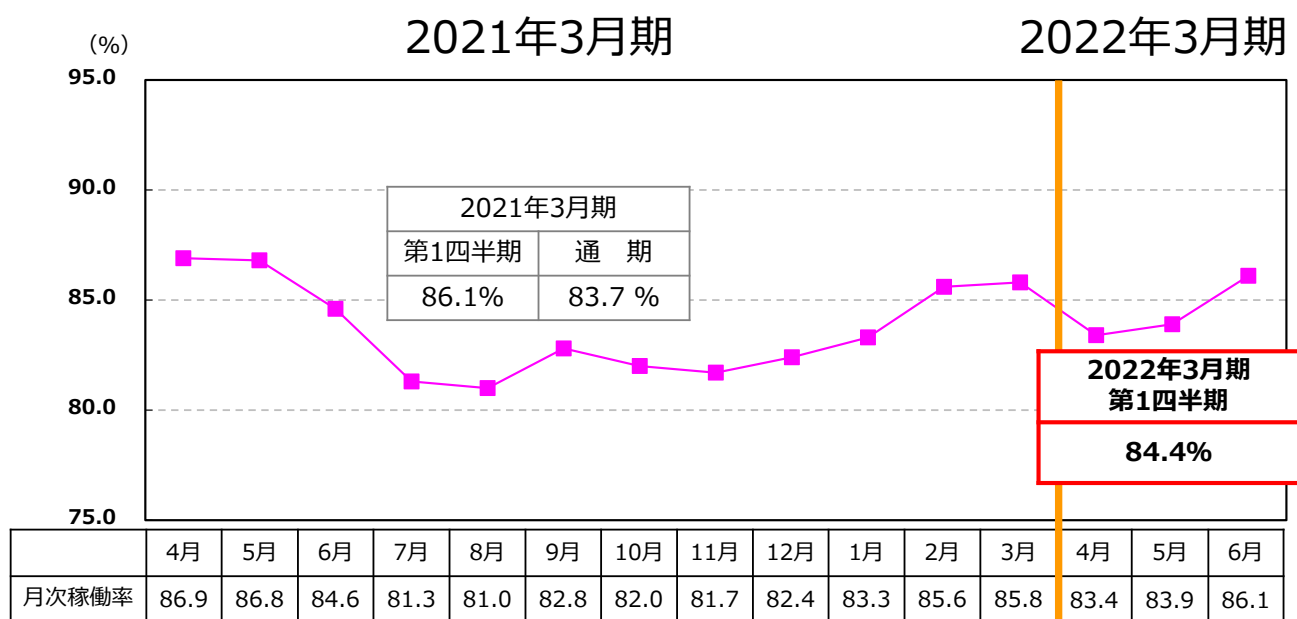
- ◆稼働率・新型コロナウイルス感染症の稼働への影響が現れる前であった前年同期と比べ減少（1.7p減）も、着実に稼働が進み、概ね期初計画通り。
- ◆技術料金・技術者のスキルレベルに応じた技術料金の契約交渉が進んだことや、稼働時間の増加により、前年同期比 87円増。
- ◆稼働時間・大きく減少した前年同期に比べ残業時間の増加により回復し、前年同期比 0.17H増。
- ◆技術者数・稼働状況を勘案し、2021年新卒の採用数を抑制したことで、前年同期比 37人減。  
新卒及び中途技術者の採用を継続し今後の増加を図る。

	2021年3月期 第1四半期	2022年3月期 第1四半期	前年同期比
稼働率	86.1%	84.4%	△1.7p
技術料金	3,908円/H	3,995円/H	+87円/H
稼働時間	8.59H/人・日	8.76H/人・日	+0.17H/人・日
期末技術者数	794人	757人	△37人

※技術料金（1時間当たりの技術料金）= 売上高/総稼働時間

3

## 稼働率推移（2020年4月～2021年6月）



※稼働率（%）= 稼働技術者数/技術社員総数×100

4

本資料は、当社の企業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2021年8月5日現在のデータ等に基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し、または、約束するものではなく、今後、予告なしに変更されることがありますので予めご了承ください。

**HIP**

Hybrid Innovation Project

## 本資料に関するお問い合わせ先

**総務部 IR担当**

〒220-0003 横浜市西区楠町8-8

TEL 045-328-1000

FAX 045-321-9111

E-mail [ir@hip-pro.co.jp](mailto:ir@hip-pro.co.jp)URL <https://www.hip-pro.co.jp>